

DOSHISHA

Tokyo Journal

同志社東京ジャーナル

2022
Summer
No.128



同志社東京校友会 INDEX

表紙写真：同志社フェア in 香川

- ・同志社フェア in 香川
地域交流イベント
卒業生交流セッション
- ・2022年度 定時総会・評議員会・幹事会レポート
2021年度 事業報告・会計報告
2022年度 事業計画
- ・青木新代表幹事 就任メッセージ
- ・準備も佳境 2022 秋の集い
- ・東京校友会奨学金制度 総括レポート
- ・片桐家同志社五代記（四十一）
- ・連載コラム 今出川・京田辺四季
- ・同志社スポーツ・ソフトボール部女子
- ・親睦ゴルフコンペのご案内
- ・校友会「俳壇」特別版 杉本八郎客員教授

春のトピックス

「withコロナの催事の形」を模索しながら

同志社フェアin香川

「緊急事態」やら「自粛要請」やらで中止を余儀なくされていた各種の催事が、「リアルな集い」として復活しつつあります。先頃行われた「同志社フェアin香川」もその一つ。リアルはいいよね、やっぱり。

開催までの道のり

ここまで長引くとは思わなかつた、というのが、いわゆる「コロナ禍」に対する大方の国民の感想ではないでしょうか。

振り返れば、2020

年の2月、横浜港に入港

したクルーズ船での「集

団感染」発生を発端と

して、未曾有の大混乱が

はじまりました。政府は

2020年2月26日、

新型コロナウイルス感

染拡大防止のため、大人

数が参加するイベントに

ついて当面の自粛要請

を発表。これを受けて、同志社

関係でいえば、2月下旬に予定

されていた同志社校友会大懇親

会が中止となりました。そして、

それに続いて、3月14日に予定

されていた「同志社フェアin香

川」も延期を余儀なくされたの

でした。

その後、4月には初めての「緊

急事態宣言」が発出されました

が、それから今日までのあれこ

れは、ご存じの通り。

もともと「同志社フェア」は

苦渋の決断と「やっと…」

2011年から校祖新島襄ゆかりの地である安中や会津若松、熊本、仙台などで開催されてきたのですが、18年からは各地の校友との絆を深め、地域交流も強化することを目的に浜松、広島、富山で開催されてきました。そして、それに続くものとして2009年3月14日の香川（高松）が予定されていたのです。

ただ、香川の場合は「中止」

ではなく「延期」という形になりました。この時の延期の判断は主催者・同志社大学のリスク管理本部によるものですが、その後、地元の同志社校友会香川県支部と同志社同窓会香川支部の尽力により、同じ20年の10月4日に改めて開催される旨が発表されたのでした。地元の皆さんのがんばり意欲がうかがわれる展開でした。

しかし、残念ながら、秋になつてもコロナ禍は収束に至らず、結果、この10月4日の開催を断念し、最終的に「中止」としました。参加者の健康と安全を最優先に考えての、苦渋の決断であったのでしょうか。

この間、東京校友会も最大の催事である「春の集い」を20年、21年の2年連続で中止するという経験をしました。例年通りの5月、6月の開催を前提に十分な準備をしながら、9月に延期しての開催も模索するなど、これまで経験したことのないような苦心を重ねましたので、「フェアin香川」関係者の皆さんのがんばり意欲も共有できるのではないかと思います。

久しぶりの、リアルでの大会

2020年、21年と、「第○波」と言われるコロナ禍が続く中、国民も感染対応の経験を積み、ワクチン接種の回数を重ねて、22年の春、世の中もようやくある程度の落ち着きを見せるようになりました。

そうした状況変化を受けて開催されたのが2022年4月29日の「同志社フェアin香川」だったわけです。

由来などと大げさにいうことも



奥野史子さんのトークショー。校友同士の夫・朝原宣治さんとのエピソードも



「同志社のいま」をアピールする植木学長



地域交流イベントで、同志社グリークラブと香川オリーブ少年少女合唱団の競演

月29日の昼過ぎから、春のこぬか雨をついて、同志社の校友が続々と詰め掛けました。皆さん、笑顔とともに、久しぶりのリアルでの“大きな集い”にちょっと興奮気味。もちろん、検温、消毒、換気、ソーシャルディスタンスなど、基本的な感染対策は万全に講じられています。

ありませんが、なにしろ久しぶりに「無条件に旅ができる」という解放感に加え、最大10連休というゴールデンウィークの初日とすることもあって、空路も陸路も大賑わい。

今回の開催地となつた香川県はニューヨータイムズが「世界の人々が訪れるべき場所」として選び、「世界の宝石」と呼ぶ高松城址公園に建つていて、会場内に石垣がある施設として、会場内に石垣がある施設として、も知られています。ここに、4月29日の昼過ぎから、春のこぬか雨をついて、同志社の校友が続々と詰め掛けました。皆さん、笑顔とともに、久しぶりのリアルでの“大きな集い”にちょっと興奮気味。もちろん、検温、消毒、換気、ソーシャルディスタンスなど、基本的な感染対策は万全に講じられています。



同志社香里高ダンス部OGによるパフォーマンスも盛り上げに一役

校友会からは松岡敬会長があいさつに立ち、開催に尽力した地元関係者への感謝の言葉を述べ、「これを機会に、同志社との連携をいつそう深めたい」とのスピーチがありました。

校友会からは松岡敬会長があいさつに立ち、開催に尽力した地元関係者への感謝の言葉を述べ、「これを機会に、同志社との連携をいつそう深めたい」とのスピーチがありました。

次は、同志社大学大学院修了のバルセロナ五輪銅メダリスト奥野史子さんと司会の采野さんとのやりとりによるトークショーで「私のアスリート人生」スポーツがくれた宝物」が語られ、大きな拍手を受けました。

次は、同志社大学大学院修了のバルセロナ五輪銅メダリスト奥野史子さんと司会の采野さんとのやりとりによるトークショ

「茶話会」形式のレセプション

第二部「卒業生交流レセプション」は直前になつて「茶話会形式に変更となりました。通常は立食パーティ形式で行われることが多い「交流レセプション」ですが、このタイミングでの飲食をともなうことのリスクを主催者側が懸念し、参加者の安全を求めた選択となつたのでしょうか。

この「茶話会」形式が、コロナ禍中の“緊急避難的措置”なのか、ウイズコロナあるいはボストコロナ社会での「新しい形」なのか、議論は分かれることかも知れません。

ただ、参加者の皆さんの中から聞こえてきた「やっぱり、リアルはいいねえ」という声だけは実感にあふれていたことをお伝えして、このレポートを締めくくりたいと思います。

文責／谷村和典（72年・文写真／新田博伸（77年・法）



「茶話会」形式での卒業生交流レセプション。次回開催地・松本へのエールも

んだ瀬戸内海に面した観光地。県都・高松は今年の大河ドラマの源平合戦でも描かれた屋島の古戦場に近い四国の玄関口。街の至るところに、あの「さぬきうどん」の看板が見えます。

第一部の「地域交流イベント」は14時の開会。校友で、地元でおなじみのフリーアナウンサー采野友啓さんの司会で軽快にプログラムが進みます。まず、主催者として植木朝子学長が「このフェアを通じて、同志社のいま」を感じていただければ」とあいさつ。続いて、後援の香川県を代表して浜田恵造知事が「これを機会に、同志社との連携をいつそう深めたい」とのスピーチがありました。

このあと、植木学長による最新映像を交えた「同志社大学紹介」があり、2025年に創立150周年を迎えるにあたり制定された「ビジョン2025」に触れながら、ダイバーシティなど同志社の新しい教育方針をアピール。

べた後、大学と校友会と地元の絆の深化を強調しました。

【2022年度定時総会・評議員会・幹事会】レポート①

2021年度事業報告・会計報告

2021年度事業(活動)報告

(1)群れる機会(5大イベントの推進)で会員増をめざす

①「2021同志社東京初秋の集い」=9月4日(土)にホテルニューオータニで「今こそ同志社スピリット!コロナに負けず、集え我ら」をテーマに開催を企画。当番年次1977(S52)年卒が中心となり、コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した「安全・安心」第一での開催を準備しましたが、残念ながら開催中止となりました。

②「第6回親睦ゴルフ大会」

10月7日(木)に太平洋クラブ市原コースで44名が参加し、万全の感染予防措置をとつて団体・個人戦を開催しました。コロナ禍で1年延期となっていましたが、天候にも恵まれ「コンペを楽しんだ」との感想もあり、成功のうちに終了しました。

③「特別協力会員の集い」

コロナ禍により対面での開催を中止し、11月12日(金)に初めてのチャレンジとしてオンラインLIVE配信にて開催しました。昨年同志社大学学長に就任された植木学長、「同志社大学ビジュン2025(ダイバー

シティ・キャンパスの推進に向けて」をテーマにご講演いたしました。申込人数は42名で、実際の参加は29名でした。

②東京校友会奨学生金=大学に推薦いただいた2名(群馬・長野県出身学生)について、6月に奨学生選考委員会が審査を実施し、常任幹事会に結果を報告、全会一致で支給を決定し、7月と3月に分けて奨学生金の給付を行いました。奨学生募金は、合計83件1497千円となりました。厚く御礼申し上げます。



⑤生誕之地碑前祭文化事業・午餐会=2月12日(土)に予定の行事は全て中止となりましたが、有志により「生誕之地碑」に献花を行いました。

(2)継続的な取り組みで入会促進を図る

①通常会員」「初秋の集い」等行事中止により新規入会が殆どなく、年会費納入は前年比135口減少の1280口となりました。

②特別協力会員

「年会費納入口数は前年比5口減少の124口となりました。

③登録団体

SMD会東京支部(マンドリン部OB会)と同志社ゴルフ部OB・OG会(東京)

の新規団体登録がありました。

④大学主催行事への協力・積極的に参加

◆ホームカミングデー=11月14日(日)に对面ではなく、オンラインで開催されました。◆同志社フェア

2021年4月29日に長野県松本市で、8月21日に新潟県新潟市で、開催が予定されましたが中止となりました。◆同志社講

座=大学東京セラライトキャンパスで、秋講座が開催されま

I S H A」募金活動について大活動

①大学運営への協力(150周年)

②「東京ジャーナルの発行(年4回)」=123号より表紙など誌面のデザインを一新し、125号は「2020東京オリンピック・パラリンピック」における



有志による「生誕之地碑」献花(2月12日)



東京ジャーナル
「同志社スポーツ特集号」

5月26日(木)の「2022年度定時会員総会・評議員会・幹事会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催・決議となり、2021年度事業報告・会計報告、2022年度事業計画等の議案が、全て原案通り承認されました。

同志社アスリートの活躍を写真

と記事で特集し、これに「初秋の集い ガイドブック」に掲載予定の原稿「私の学生時代とスポーツ」を加えて、全20ページに増大した「同志社スポーツ特集号」としました。

②ホームページ、フェイスブックの運用 || [HP] 新コンテンツ管理システムの円滑な運用と掲載内容の充実を図り、[FB] 「いいね！」獲得数は「2403

人」となりました。

③広告活動 || 東京ジャーナル

125号に同封して、「広告主募集」のお願いとご案内を発送いたしましたが、新規の広告主の応募はありませんでした。

⑤事務局活動

①校友会涉外活動 || 10月23日
(土)に東京校友会が幹事支部で「関東・甲信ブロック会議」が全面ZOOMで開催され、情報交換と連携強化を図りました。

②校友会東京オフィスの運営

2021年度は、当番の常任幹事と派遣事務員の2名体制で、月・水・金曜日を基本に、大学東京オフィスの開室日と時間に合わせ、延べ158日間開室しました。

③諸会議の事務局業務 || 常任幹事会は「全面ZOOM」と「対面(京橋区民館)+ZOOM」を併用して毎月開催を継続、幹

は全て書面開催といたしました。

④会員維持管理 || 「個人情報保護の基本方針・規程」の改定を

7月20日(木)に開催の「幹事会(書面開催)」に提案し承認されました。その全文は、ホームページに掲載しています。

⑤金銭出納および経理業務全般

⑥備品・各種書類の保管管理充実化 || 計画通り業務推進済です。文責/阪口章夫(73年・商)

2021年度 会計報告 (2021/4/1~2022/3/31)

1. 2021年度 収支決算報告

科目	修正予算	累計実績	差異	備考
【基礎収入】	7,820,000	6,820,205	-999,795	達成率 87%
年会費収入(通常会員)	4,260,000	3,840,000	-420,000	1280口(-140口)
年会費収入(特別協力会員)	3,000,000	2,480,000	-520,000	124口(-26口)
校友会助成金	550,000	500,000	-50,000	地域交流+15万、コロナ支援+10万
受取利息	1,000	205	-.795	
その他の収入(雑収入)	9,000	0	-9,000	
【事業収入】	1,001,000	88,000	-913,000	達成率 9%
参加費収入(初秋の集い)	0	0	0	開催中止
参加費収入(特別協力会員の集い)	525,000	0	-525,000	開催中止
参加費収入(碑前祭午餐会)	205,000	0	-205,000	開催中止
参加費収入(その他の集い)	260,000	88,000	-172,000	ゴルフ大会のみ開催
物品等販売(収入・支出)	11,000	0	-11,000	同志社クッキー:無
【広告収入】	340,000	330,000	-10,000	達成率 97%
広告料収入(東京ジャーナル)	300,000	300,000	0	ダイヤ工業業様×2回 公益社様×1回
広告料収入(ホームページ)	40,000	30,000	-10,000	若林佛具店・スタッフアイ様の下様
広告料収入(初秋の集い)	0	0	0	開催中止
収入(小計)(1)	9,161,000	7,238,205	-1,922,795	達成率 79%
【事務経費】	2,684,000	2,251,555	-432,445	消化率 84%
労務費(感謝金)	624,000	674,000	50,000	東京オフィス当番増員人材派遣費減
業務委託費	220,000	212,540	-7,460	大滝会計事務所+CRカード業務
会議費	300,000	206,024	-93,976	常会・幹会・評会・総会:書面開催
交際費(支部総会祝金)	100,000	0	-100,000	支部総会開催中止
通信費	520,000	474,588	-45,412	郵便・ヤト便:NTT東日本
交通費	240,000	157,880	-82,120	常任幹事会ZOOM併用+コピー削減
事務用品費	260,000	194,126	-65,874	OKI複合機メンテ費減、修理等臨時費減
家賃・付帯諸費	50,000	46,200	-3,800	郵便払込・銀行振込・クレジットカード
振込・手数料	360,000	286,197	-73,803	バーチャルオフィス家賃(エイゼックス)
その他の支出(雑費)	10,000	0	-10,000	郵便払込・銀行振込・クレジットカード
【事業費用】	2,765,000	1,424,081	-1,340,919	消化率 52%
催事費(初秋の集い)	1,200,000	1,115,649	-84,351	キャンセル料71万、案内状・チラシ・経費
催事費(特別協力会員の集い)	720,000	190,992	-529,008	WEB講演会開催
催事費(碑前祭午餐会)	225,000	0	-225,000	開催中止
催事費(碑前祭文化事業)	300,000	0	-300,000	開催中止
催事費(その他の集い)	320,000	117,440	-202,560	ゴルフ大会のみ開催
【広報費用】	1,840,000	1,713,472	-126,528	消化率 93%
東京ジャーナル発行・配布費	1,740,000	1,697,170	-42,830	取材費減少
ホームページ維持・管理費	100,000	16,302	-83,698	サーバー費・メンテナンス費
【政策経費】	622,000	74,457	-547,543	消化率 12%
特別協力会員維持開拓費	80,000	62,457	-17,543	日経テレコンによる新規会員開拓
年次会等諸団体会員開拓費	260,000	0	-260,000	年次会発足支援:無
同志社大学現役諸団体交流費	170,000	0	-170,000	関東スポーツユニオン:開催・申請無
現役世代会員開拓費	100,000	0	-100,000	ビジネスパンツ企画:開催無
初秋の集い新人参加費	0	0	0	「集い」開催中止
地域交流活性化費	12,000	12,000	0	神田錦町三丁目町会費
【人材派遣費】	1,720,000	1,455,502	-264,498	消化率 85%
【予備費】	50,000	0	-50,000	消化率 0%
【特別支出】	100,000	55,000	-45,000	消化率 55%
支出(小計)(2)	9,781,000	6,974,067	-2,806,933	消化率 71%
[A]一般収支(1)-(2)	-620,000	264,138	884,138	対予算収支 -43%
奨学金募金(収入)	300,000	1,497,000	1,197,000	達成率 499% (100万円大口募金)
奨学金給付(支出)	600,000	600,000	0	消化率 100%
[B]奨学金募金確定収支	(300,000)	897,000	1,197,000	対予算収支 -299%
[総合収支 A+B]	(920,000)	1,161,138	2,081,138	対予算収支 -126%

2. 2021年度 同志社東京校友会奨学金募金勘定

1) 2021年4月~2022年3月収支報告

集計単位	2021年度			備考
科目	修正予算	累計実績	差異	
奨学金募金(収入)	300,000	1,497,000	1,197,000	達成率 499%
奨学金給付(支出)	600,000	600,000	0	達成率 100%
合計	-300,000	897,000	1,197,000	達成率 -299% : 100万円×1件

2) 2021年度 奨学金募資金資産勘定

科目	2021年度	2020年度	2021年度	備考
2020年度残高	1,078,325	1,497,000	600,000	897,000

3. 財産目録(2022年3月31日現在)

(資産)	2019年度	2020年度	2021年度	
銀行口座	2020年3月31日	2021年3月31日	2022年3月31日	前年度増減
普通預金:みずほ銀行(渋谷中央)	94,372	829,005	944,366	718,113
普通預金:みずほ銀行(銀座)	4,010,449	1,309,443	786,154	591,851
ゆうちょ銀行振込口座	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-595,545
手許現金	2,239,182	2,239,202	2,239,222	-31,770
通常資金合計	6,407,809	8,720,695	8,792,082	682,649
定期預金:みずほ銀行(渋谷中央)	1,497,932	90,247	1,039,734	0
ゆうちょ銀行	2,239,202	2,239,222	12,239,242	20
定期資金合計	24,287,053	23,252,056	23,886,101	20
[奨学金] 普通預金:みずほ銀行(京橋)	90,247	1,039,734	1,518,203	478,469
資産合計	23,252,056	23,886,101	25,047,239	1,161,138
*奨学金募資金資産分⇒	1,565,325	1,078,325	1,975,325	897,000
(負債)	なし		*収支分⇒	264,138

【2022年度定時総会・評議員会・幹事会】レポート②

2022年度事業計画

2022年度事業(活動)計画

(1)群れる機会(5大イベント)

①「2022同志社東京秋の集い」=9月18日(日)に、品川プリンスホテルにて開催を予定しています。テーマは「再び

集え!ニユーノーマル時代と同志社精神(新型コロナワイルスが教えてくれたこと)」。

1978(S53)卒を中心とした実行委員会を組織して、コロナ感染防止策を徹底した準備を進めています。

②「第7回親睦ゴルフ大会(個人・団体戦)」=10月4日(火)に開催を予定しています。奮つてご参加下さい。

③「特別協力会員の集い(特別講演会)」=11月21日(月)に学士会館(神田)で開催予定。講演会と3年振りの懇親会を開催し、親睦と何らかの繋がりが出来ればと考えています。

④「ビジネスパーソン・特別講演会(現役世代開拓)」=卒業生有名企業トップなどを招聘し、現役世代向けに交流やイベント等を企画・開催します。

⑤「生誕之地碑前祭(文化事業・午餐会)」=2023年2月12日

日(日)の「碑前祭」の後に学士会館で開催を予定、久し振りの日曜日開催で、地域交流を含め、多くの参加者が集う「文化事業」を検討中。「午餐会」は同窓会東京支部との共催で、65名の参加を想定しています。

(2)会員・登録団体・継続的な取り組みで入会促進を図る

①「通常会員(群れる機会)」=会員数1500名を目指し、年次会・サークル・学部/業界OB/OG会等に働きかけ、「秋の集い」参加勧誘と連動して、SNSを使った会員獲得にチャレンジします。

②「特別協力会員」=例年通り、新しく各団体の重要なポストに就かれた方に対し、8月に日経テレコンで検索し、新規会員勧誘の案内状を200通前後送付予定です。

③「女性会員」=「秋の集い」や年次会等登録団体の女性会員の発掘と役員への登用を図ります。

④「クラブOB/OG会・学部/S-H-I-S-H-A 2025募金(法人・会員)」=登録団体への働きかけを強化し、法人への

募金依頼活動の再開を図ります。

②「第二回東京校友会奨学生会」=会員合計25名以上が所属する登録団体に、代表者の文書申請に基づいて、金額1万円を総会時「祝金」として支出しています。ぜひ、団体登録と構成員名簿(氏名/卒年/学部のみ)の提出をお願いします。

(5)活動活性化の運営改革プロジェクト

ト=会員拡大(特に現役世代・年次会の充実等)を目的に、過去の延長線上ではない「会員を増やす仕組み作り」を、8月を目処にまとめます。

(3)大学への協力!

学校への積極的協力と支援活動

①「ALL DO SHI-SHA



新任役員 左から寺石常任幹事、青木代表幹事、高塚副会長、藤井副会長、福山常任幹事

度(大学に2~3年次生の推薦を依頼し、東京校友会で審査・決定)に給付型奨学生年額30万円/人を支給します。

★奨学生の原資は奨学生募金であります。個人・登録団体へ募金のおり就学支援が必要な成績基準と家計基準を満たす関東甲信圏(9都県)出身学生4名程



アーモスト館
イラスト:山口潔子
(同志社大学職員)



新任役員 濑尾副会長

理解の上、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

③大学現役諸団体支援（スポーツ・文化）

＝スポーツ団体は、全国大会出場で上京（関東圏）した体育会運動部に、関東同志社ス

ボーッユニオンの申請により、

秋の総会開催時に支援金を一括贈呈いたします。文化団体は、東京でのコンサート等の催し物開催の際に、P.R.等でチケットの販売を支援します。また、文化団体から支援金申請を受付け、常任幹事会で支出を個別に判断して支給してまいります。

（4）広報・広告活動

① 東京ジャーナル（会員誌・年

4回）＝若い世代の編集委員の募集・獲得を継続、新編集委員を早期に戦力化し、ウィズコロナ、アフターコロナ時代に対応した誌面構成を行います。

② ホームページ、フェイスブック＝HP 新システムの円滑な運用とコストダウンを図り、【FB】「いいね！」獲得目

標を2450人（3／31現在・2403人）としています。

③ 広告獲得活動（会員誌・HP）

＝東京ジャーナル2社＆ホームページ2社の広告主新規獲得活動を継続します。

（5）対外交流活動

① 立教大学経済人クラブ＝講演会等での相互交流を継続し、親睦の輪を広げ、運営・企画に活動を繼續します。

② 錦町三丁目町会＝「新島襄生誕之地碑」（学士会館）が所在する千代田区神田錦町三丁目町会を通じて地域交流を図っています。

（6）事務局活動

① 校友会本部・関東甲信ブロッ

ク＝校友会本部事務局とは、本部主催行事への参加、校友会東京オフィスの運営、支援金・助成金等申請、会員拡大支援等で連携した活動を行います。関東甲信ブロックでは、支部長会議の幹事支部機能を担いつつ、支

部総会開催時には出席（総会祝金）し、「秋の集い」への参

加・協力要請を行います。

② 諸会議・行事事務局（出欠・名簿・会費）＝2022年度の

諸会議日程・常任幹事会・原則

評議員会・総会・①5／26（幹事会／評議員会／定時会員総会・書面開催）、②7／14（幹事会「秋の集い」が主題）、③11／24（幹事会／評議員会・中間報告）、④2023／3／23（幹事会・次年度事業／予算計画）。

◆評議員選出事務局の設置

＝現会の評議員各位（約200名）は、2023年3月31日で任期満了となります。10月になります。各登録団体の代表者にしたら、各登録団体の代表者に「評議員推薦のお願い」（任期：2023年4月1日～2026年3月31日）を発信いたしますので、11月末までの推薦にご協力下さい。

③会員管理システム（会員・請求・入金）

＝会員基本情報と請求・入金管理を司る「会員管理システム」（2019年末稼働）の「操作手順書」の整備・活用を図り、必要な手直しと要件追加・変更等を継続し、更なる活用を目指します。

★会員の個人情報は、2021年7月20日に全面改定した「東

京校友会個人情報保護に関する基本方針と規程」に則り、今後共、個人情報の適正な管理と保護に努めてまいります。

④会計／経理／財務全般（請求



新任役員 仁藤常任幹事

書・助成金）＝日々の収入・支出を含む定期月次業務の他、通常会員／特別協力会員の「年会費納入のお願い」の発送・納入管理・督促（会員管理システムで運用）、広告代の請求・管理、募金の管理等、また、大滝会計事務所による月次決算の委託会計監査等、幅広い業務を2名体制で行います。

⑤校友会東京オフィス（情報・書類・備品）

＝当番担当の常任幹事1名（5名交代制）と派遣事務員1名（固定）の2名体制で、原則月・水・金曜日10：00～16：00に開室（17：00までには閉室）、当番担当は各自の役割を果たす他、会員管理、各種到達情報の処理、関係者との日常連絡、諸問題の対応、備品の運用の他、事務処理等を行います。

文責／阪口章夫（73年・商）

△代表幹事が一人制となりました

新代表幹事に選任された
青木重之さんのメッセージ

ポストコロナ時代の校友会活動とは？世の中が大きく変化し、生き方や働き方が変わらざるを得ない状況下での新たな校友会活動の在り方を模索します。

するかのように会員減少も進み、将来の校友会の存在にも大きな影を落としています。

感染者数が減少してきましたの
で、9月18日の「秋の集い」から反
転して、攻めの姿勢で新たな東京

本年度の東京校友会は、二つ力後を見据えて、常任幹事の増強や新たなプロジェクトチームの立ち上げなど新機軸を打ち出しております。

事務局体制の強化と新たな企画実施を強化することになり、阪口代表幹事とともに、新たに代表幹事を拝命いたしました青木重之(78年・経)です。よろしくお願ひいたします。



青木重之代表幹事

目指すはこの伝統ある東京
校友会を「老壯青」皆が集える校
友会にしていくことです。
頑張りますので、ご支援よろし
くお願いいたします。

若手会員の皆さんによる座談会の模様を掲載いたしましたが、他にも現役世代の皆さんのヒアリングなども実施し、貴重なご意見をたくさんいただきました。

感度者数が減少してきましたので、9月18日の「秋の集い」から反転して、攻めの姿勢で新たな東京校友会を作っていく覚悟です。

将来の校友会の存在にも大きな影を落としています。

会員の皆様、もう参加申し込み込みはお休みでしょうか？

開催日まで2か月を切り、寒

行委員会内の準備作業が佳境に差し掛かっているところです。

この度の会場は、初めての品川プリンスホテル「プリンスホール」。これまでになく広い会場で中華のコース料理をお召し上がりいただけます。

スは万全、さらに当日は、この会場内の「業種別大名刺交換会」も企画しています。ぜひ、たくさんの名刺を持つてご参加ください。

初めての読みである「リモート版秋の集い」の準備も着々と進んでいます。

特に、当日ライブでお送りす

団体(サークル)である「学生テレビ局」の皆さんに制作をお願いした動画「今出川・京田辺の今」の撮影もピークを迎えていて、箱田有紀局長(3回生)以下メンバーや皆さんも頑張つて制作にあたつてくれています。

過去2年、コロナの影響で中止を余儀なくされた東京校友会「〇〇の集い」の伝統を途絶えさせることなく、復活させるよう実行委員会一同頑張つて準備いたしました。

たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

文責／青木重之(78年・経)

準備も佳境 2022秋の集い



直山仁さん

A collage of various images from the event, including a group photo of attendees, a person speaking at a podium, and a person holding a book.



擲尾棋十八



東京校友会120周年記念事業

「東京校友会奨学金制度」総括レポート

1. 奨学金募金（募金と給付の実績は別表をご参照ください）

＝2016年から2021年度までの6年間に、個人・登録団体・「春の集い」・同志社クッキー販売等から合計467万円の募金が寄せられました。誠にありがとうございました。

た。今回「生活状況報告書」の中から、使途を中心に、奨学生の声を編集してお知らせします。

・2017年度3名

①学費や生活費に充て、アルバイト時間を短縮し、勉強や実験参加の時間を増やすことが出来た。②学会や研究会・セミナーに出席する費用や高価な専門書籍の購入に活用し、学業の充実を図ることが出来た。③フランスへの短期留学費用の半分を貯め、母や姉の負担を減らすことが出来た。

・2018年度4名

①フィンランドへ交換留学中の生活費支出去が多いため、洲を幅広く経験することが出来た。②教育実習先への交通費や部活動の遠征費等に活用し、有意義な学生生活に出来た。③大学図書館にない海外の専門性の高い文献・書物の購入費や学会等の交通・宿泊費に活用し、自分の可能性を広げることが出来た。④生活に余裕がない中、部活動を継続することが出来、好きな旅行などに踏み出す余裕が出来た。

2. 奨学生の声

＝5年間で延19名に合計570万円の奨学金を支給することが出来ました。奨学生からは、関東甲信圏出身者向けで給付型であることから、大変有り難く助けられましたとの感謝の声が多く寄せられました。

・2019年度6名

①仕送りのため休みなく働く母親が、少し休みを安心して取ることが出来た。②学費への充当の他、専門的な教科書を購入することが出来た。③アルバイトの日数を減らし、学校の活動に時間を使ってることが出来た。④生活費を貯め、旅行や食事などの際にお金に躊躇せずに安心出来た。⑤生活費の大きな助けになり、ドイツ語・英語・漢字検定試験を受けることが出来た。⑥全額を学費に充て、今年は少し余裕が生まれ、学業に必要な高性能パソコンを躊躇なく購入することが出来た。

・2020年度4名

①書籍の購入費、コロナ禍自宅待機時の図書費、生活費に有効活用出来た。②学費を援助している両親が介護に時間を取られ収入が減少した分の補填として学費に活用出来た。③コロナ禍でアルバイトが難しい状況下でも掛け持ちせずに勉学に励むことが出来た。④学費や英語・日商簿記検査に合格することができた。

奨学金募金の実績推移 2022年5月21日

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	6年間合計
募金(円)	672,188	389,304	567,884	835,949	713,000	1,497,000	4,675,325
同志社クッキー(個)	945	1,365	435	2,165	0	0	4,910
内:大学生協(個)	375	960	-	1,715	0	0	3,050
個人/団体等(件)	2/7	0/5	3/5	0/17	27/1	83/0	115/32
一般会計(円)	600,000	2,400,000	-	-	-	-	3,000,000
奨学金給付(円)	-	900,000	1,200,000	1,800,000	1,200,000	600,000	5,700,000
人数(名)	-	3	4	6	4	2	19
出身都県	-	群馬2・神奈川	群馬・山梨・神奈川・東京	山梨・東京4・茨城	東京4	群馬・長野	群馬4・神奈川2・山梨2・東京9・茨城・長野
繰越金(円)	1,272,188	3,161,492	2,529,376	1,565,325	1,078,325	1,975,325	2022年度へ

・2021年度2名

①イギリス留学が出来、勉学集中と新たな経験が出来た。②新しいノートパソコンを買うことができ、動画で合格することが出来た。

◆2022年度から新たに開始の5年間、「第二回東京校友会奨学金制度」にもご協力の程、よろしくお願ひいたします。

文責／阪口章夫（73年・商）

連企
載画

片桐家同志社五代記

その四十一

文／片桐陽(67年・工)

この連載を書き始めて、何と前回で丸10年が過ぎた。一家族の家系の歴史を書かせていただいているが、同志社に関していふことは言え、よくぞ皆様お許しいただいていること本当に申し訳ない気がしてくる。

毎回できるだけ同志社に関わる事柄を綴ろうと努力をしているつもりだが、大事な誌面を使わせていただいて良いものだらうかと考えざるを得ない。

また新田編集長にこれで良いのかと問い合わせるのだが、もつと続けるとの返答をいただき、お言葉に甘えている。もう暫くお付き合いいただきたい。

さて、今回はちょっと休憩の意味も含めて、私の生涯の趣味となつた車やバイク（自転車からオートバイ）について話をしたい。

私は同志社幼稚園に通つていろいろから車に興味を持つていた。終戦後間がない頃とあって、京都市内でも殆ど車が走っていない中、進駐軍のジープが家の前を通る。その車をよく絵に描いていたことを思い出す。



高校時代 友人の池本康博君(左)と

同志社中学に入学すると、自宅のあつた下鴨前萩町から烏丸今出川まで自転車で通つた。

京都市内は皆様よくご存知のことかと思うが、平坦に見えている、我が家の前の通り（現在の北山通）と九条にある東寺の五重塔のてっぺんと同じと言われていたがそれ程高低差がある。

から南へ流れているのだから当たり前なのだが！

そういう訳で、家から中学校までは下り道を走るので、結構スピードも出せる。烏丸通を飛ばして走つていてよく警官に止められ、「もつとゆっくり走れ」と叱られたものだ。

高校に進むと16歳で原付免許

が取れたので、何人かはモペッ

トに乗つて通学していた。私は

経済的理由が一番だったが、父親から危険だから駄目と言われ、自転車通学を続けた。公共交通機関で通うとなると、前萩町から市バスで出町柳まで出て、さらに同志社高校まで歩くことになり一時間は掛かつた。それが、自転車だと宝ヶ池の手前の狐坂を越えて20分から30分で行けるので便利だった。これが自転車通学の大きな理由だ。

さて大学に入り、18歳になる。

当時の若者は必ずと言っていいほど、その年齢になると四輪の免許を取得したものだ。

今だから話せるが、実は高校時代から友達の家の車を無免許で運転をしていたこともあつて車を動かすことは全く問題無かった。自宅から数分の教習所、宝ヶ池自動車学校に入つても毎日試験コースを走つていた。

無事に免許証が手に入ると、

何とか自分の車を持ちたいものだが、我が家はモペットでさえ

も買えない時代、車は高値の商

品。その頃町内で車を持つてい

る家は、ワンブロックでヒルマ

ンやルノーなどが二、三台ほど

だつた。続々は次回にしたい。

今出川・京田辺四季

株式会社繫代表取締役
大岩政博(99年・法)

トに乗つて通学していた。私は経済的理由が一番だったが、父親から危険だから駄目と言われ、自転車通学を続けた。公共交通機関で通うとなると、前萩町から市バスで出町柳まで出て、さらに同志社高校まで歩くことになり一時間は掛かつた。それが、自転車だと宝ヶ池の手前の狐坂を越えて20分から30分で行けるので便利だった。これが自転車通学の大きな理由だ。

さて大学に入り、18歳になる。当時の若者は必ずと言っていいほど、その年齢になると四輪の免許を取得したものだ。

歌を歌うことに苦手意識を持つており、話を聞くくらいなら、と思って席に着いたのが運命の分岐点だったようで、そのまま、新歓の花見に参加し、流されるように入隊しておりました。聖歌隊では、叱咤激励を受けつつ、毎週火曜と水曜のチャペルアワーでの讃美、お昼休みの練習、夏の合宿、同志社礼拝堂での秋の定期コンサート、栄光館での同志社クリスマスキャンプライトサービスなどを軸に活動を続けておりました。

今出川での火曜のチャペルアワー後から夜通し友達の家で遊び、寝ぼけ眼で田辺の水曜のチャペルアワーに出ていたのが良い？思い出です。



1995年 秋の定期コンサート



本塁打を放ち笑顔の弓納持(商4)



力投する和田(スポ3)

費や生活費を補つて
アルバイトに励み、部

2021年12月、
クラウドファンディングが実施された。
部員たちは忙しい練習の合間を縫つてア
マぬ努力が沢山の人的心に届いたのだ。

学生主体で
乗り越え、悲願を達成した彼女たちの表情は晴れやかだった。

熱心に広報活動を行い、この取り組みやチームの魅力について発信した。すると、京都新聞から記事掲載の声がかかり、これがさらなる応援の渦を巻き起こす。

結果、わずか1カ月で267人の支援者から222万円を集めることに成功。チーム関係者や卒業生のみならず、一般層からも多数の支援を受けた。たゆ

る夢への挑戦はここから始まる。
いざ頂点へ
学生主体のチーム運営、全てのことに全力で取り組む姿、あふれんばかりの笑顔。同志社ソフトボール部女子は、見る者全てを惹きつけるチームだ。クラウドファンディングによる資金援助と声援を受け、チームはより一層大きくなつた。満を持して、いざ全国の頂へ。彼女たち

ソフトボール部女子 2年連続でインカレ出場

学生主体のクラウドファンディングで資金援助と声援を受け、創部史上初となる2年連続でのインカレ出場権を獲得した。

全国の切符

日本一を目指して走り続ける同志社ソフトボール部女子。4月16日開幕の春季リーグ戦に参戦し、関西の強敵としのぎを削る戦いを繰り広げた。好調な滑り出しとは裏腹に、新チーム初の公式戦ということもあり、多くの苦戦を強いられる。最終戦績は2勝5敗で1部6位。自動的に全国大会出場が決定する4位以内に入ることができず、インカレ決勝戦への出場を余儀なくされた。

絶対に負けられない一戦。対戦相手は2部1位の立命大だ。強い日差しの下、両者が熱い声

で戦った。その快挙だ。「本当に良かつた、その一言です」と、主将の山口は笑顔を浮かべる。険しい道のりを乗り越え、悲願を達成した彼女たちの表情は晴れやかだった。

去年に引き続き、2年連続でインカレ出場権を獲得。創部史上初の快挙だ。「本当に良かつた、その一言です」と、主将の山口は笑顔を浮かべる。険しい道のりを乗り越え、悲願を達成した彼女たちの表情は晴れやかだった。

目標は2000万円。SNSで熱心に広報活動を行い、この取り組みやチームの魅力について発信した。すると、京都新聞から記事掲載の声がかかり、これがさらなる応援の渦を巻き起こす。



試合後、笑顔を見せる選手たち

援を飛び交わせ、会場の熱気は最高潮に達していた。

いる。しかし、少ない部員数のためおのおのの負担費用が大きい

引き寄せた。先頭の山口(スポ4)が右三塁打を放ち出塁すると、続いて打席に立つのは弓納持(商4)。完璧な角度で初球を捉えると、打球は高い放物線を描く。そのまま右側スタンドに吸い込まれ、一挙2点を先制した。エースの和田(スポ3)も見事な投球を見せ、相手打線を封じ込める。攻守がかみ合い、5ー0で完封勝利を収めた。

日本一になるためには、強豪校との遠征練習や設備の強化は必要不可欠。「私たちにできることは全て挑戦したい」。その思いから始まつた完全学生主体のこの試みは、多くの反響を呼んだ。

日本一になるためには、強豪校との遠征練習や設備の強化は必要不可欠。「私たちにできることは全て挑戦したい」。その思いから始まつた完全学生主体のこの試みは、多くの反響を呼んだ。

第7回親睦ゴルフコンペ開催

10月4日（火）に東京校友会恒例の親睦ゴルフコンペが開催されます。会場は千葉県の太平洋クラブ市原コースです。

年次や学部やクラブの仲間が自由な組合わせでチーム戦と個人戦でゴルフのネットスコアを競います。隠しホールを設けての新ペリア方式ですから単純にグロススコアが良ければ上位という訳でもないところが楽しいところですね。コロナ禍は下火になっているでしょうけれど昨年の大会と同様万全の対応で臨



太平洋クラブ市原コース9番ホール

編 集 後 記

2年以上猛威を振るつたコロナ禍もようやく収束に向かいつつあるようですが、皆様には、コロナに負けず、お元気でお過ごしでしょうか？

4月29日（祝）には高松市で、コロナ禍のため2年延期された「同志社フェアin香川」が開催されましたので、今号では表紙と巻頭記事にいたしました。

まだまだ楽観はできませんが、コロナ禍がこのまま収束に向かえば、「同志社東京秋の集い」もなんとか開催することができそうです。

9月18日（日）に開催される

「秋の集い」は、5月の定時総会で新代表幹事に選任された青木実行委員長の下、1978年卒の実行委員が中心となり、着々と準備が進められています。3年ぶりの開催となりますが、どうぞ期待ください。

「秋の集い」で、お久しぶりに皆様にお目にかかるのを楽しみしております。コロナや熱中症に十分気をつけて、それまでどうぞお元気でお過ごしください。

文責／新田博伸（77年・法

DOSHISHA TOKYO JOURNAL
2022.July. NO.128 同志社東京校友会
〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F
電話：03-5579-9728
FAX：03-5579-9729
発行人／横山 徹
編集人／新田博伸
印 刷／株式会社スバルグラフィック
<https://www.doshisha-tokyo-alumni.jp>
mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875

大募集！＜校友・私の一句＞

*随時募集・一回2句まで。無料。掲載句には表記の整理・添削などをを行う場合があります。投句は「はがきは〒104-0061 中央区銀座1-15-7 MAC
銀座ビル3F 同志社東京（俳句係へFAXの場合は03-5579-9729 同志社東京）俳句係へ。」
年時代（俳壇選者など）。

祇園会は耳の奥から始まりぬ

杉本薬王子（同志社大学生命医科学研究科客員教授）

（評）この俳号は薬学会の世界的レジエンド、杉本八郎教授ならでは。また俳句界でも結社「風土」の同人会会長という俳人、というわけで今回は特別版。祇園祭は巡行だけではない。あのコンチキチンの祇園囃子の稽古から祭は始まっているのだ。東京人の教授は、この祭との出会いの驚きと感動を上五の「は」に込めた。名句は助詞一つで生まれる。

たにむり・たいむ
俳人協会／現代俳句協会
会員／俳句結社「炎焼」
同人会会長／情報紙「定期時代」（俳壇選者など）

校友会「俳壇」

特別版 選・谷村鯛夢（72年・文）

たにむり・たいむ
俳人協会／現代俳句協会
会員／俳句結社「炎焼」
同人会会長／情報紙「定期時代」（俳壇選者など）



人は寝ているあいだも、
空気を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に
心地よい空気とは何かを考え続けています。
人と空気のあいだに、いつもダイキン。

ダイキン工業株式会社